



せい しん つう しん  
**聖 心 通 信**

**札幌聖心女子学院**

校長 齊藤 隆浩

第9号 2024年11月29日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号  
 URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667 (職員室直通)  
 FAX 011-612-0980

気温が低くなり、雪も降りはじめ、冬の訪れを実感します。日々の気温差が大きいので体調を崩しやすくなっています。上着による調節に加えて、かぜ予防の手洗いうがいにも十分に留意して、元気にクリスマスを迎えましょう。



**12月の予定**



	行事	弁当	
1	日		
2	月	クリスマス・プラクティス(~12日)	要
3	火	全校朝礼 母の会聖書サークル(10:30~ Sr.新庄)	要
4	水	オーストラリア姉妹校短期留学生登校(~13日)	要
5	木	漢字コンテスト②(1限)	要
6	金		要
7	土	父の会聖書サークル(16:00~ Sr.田口)	
8	日	寄宿クリスマス会	
9	月		要
10	火	全校朝礼	要
11	水	梅干し弁当募金⑦ 職員会議(15:40~)	要
12	木	クリスマス歌練習(5~7限)	要
13	金	クリスマスウィッシング(午前中)	不要
14	土		
15	日		
16	月		要
17	火	母の会聖書サークル(10:30~ Sr.田口)	要
18	水	終業日 帰省日	不要
19	木		
20	金		
21	土	クリスマス~祈りと語らいの会 (58・59回生対象)13:00~15:00	
22	日		
23	月		
24	火		
25	水	クリスマス うえるかむはうすボランティア	
26	木		
27	金		
28	土	学校閉鎖期間 (~1月3日)	
29	日		
30	月		
31	火		

☆ 行事定は暫定のものです。大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

**梅干し弁当募金**

11月15日(水)に行われた梅干し弁当募金では、**総額 25,873 円**が集まりました。今回はSOFIS ワークショップのアクションプランの一環として、移民・難民支援の目的で国際移住機関に寄付いたします。ご協力ありがとうございました。

**Congratulations!!**

◎ 第70回青少年読書感想文全道コンクール  
 優良賞 高3 田中佐和

**お知らせ**

○卒業式と感謝のつどいのご案内について

2月8日(土)実施の卒業式と感謝のつどいにつきまして、11月15日に在校生の保護者の皆様へ文書及び一斉メールでご案内しております。いずれも、グーグルフォームでの出欠確認をお願いしており、締切は12月11日となっております。ご対応のほど、よろしく願いいたします。なお、感謝のつどいは、これまで本校を支えてくださった本学院の関係者や道内の教育関係者をお招きし、感謝の意をお伝える式典です。卒業式と同様に、過年度の卒業生にはご案内しておりませんことを、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

○指定パーカーとソックスの在庫販売について

保護者一斉メールにてすでにお知らせしておりますが、指定パーカーとソックスの在庫を値引き販売しております。購入を希望される場合は、生徒のg-mail およびクラスルームに申し込みフォームを送信しておりますので、そちらからお申し込みいただけますようお願いいたします。

※本校の指定制服及び制定品は卒業後も校外の方への販売・譲渡はなさらぬようお願いいたします。

# 宗教行事(ロザリオの祈り・追悼ミサ・聖フィリッポ・デ・ジュエーノの祝日)

10月下旬から11月中旬にかけて、三つの宗教行事が行われました。いずれも札幌聖心が大切にしてきた行事です。今回が最後となりましたが、これまでと同様に心をこめて祈りを捧げました。

ロザリオの祈り(10/21~25)

追悼ミサ(11/6)

聖フィリッポ・デ・ジュエーノの祝日朝礼(11/14)



## 今月のこころのことば

「マザーバラには見えるのでした。すべてのひとの  
なかにかがやくとくべつなひかりが・・・」

(児島なおみ著『聖マグダレナソフィア・バラ』)

この聖マグダレナ・ソフィアについての文はさらにこう続きます。「どんな人の中にもきえることなくかがやきつづけるかみさまのすがたが…愛にあふれたマザーバラの目には見えるのでした。」今年のクリスマスのテーマが「Christmas twinkle」と聞いた時、すぐこの文を思い出しました。ひとり一人の特別な光とはどんな光でしょう。自分の近くにいる人の、また遠くにいる人びとの、様々な光を見つけるとは素晴らしいことだと思います。

私たちはともすれば他人の欠けたところが目に付いて、その人の中にある輝きを見逃してしまいます。どんな人にも特別な光があると確信した聖マグダレナ・ソフィアの教育の想いは、子供たちの中にある光が輝き出て、人に尽くす人として成長することでした。札幌聖心での最後のクリスマスに、創立者の教育の思いが、自分の中にどのように生かされているかを探るときになるとよいと思います。また、共に過ごした仲間の輝きも見つけて、大切にできたら、さらに良いクリスマスが迎えられるでしょう。

また「私たちの輝きを集めて、クリスマスの希望の光となるように」という副題も心に響きます。世界中のひとり一人の輝きが集められて、希望の大きな光となるということはまさに、この暗闇の多い世界にクリスマスのメッセージとなります。

カトリック教会ではクリスマス前の4週間を待降節と呼び、キリストのご降誕を準備する時としています。世の光として来られたキリストの輝きをひとり一人の心の中に迎える準備でもあります。師走と言われるいそがしい時に、静けさを味わいながらご一緒にクリスマスの準備ができますようにと願います。

(修道院長Sr. 新庄美重子)

